



2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月1日

上場会社名 ヒロセ電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6806 URL <https://www.hirose.com/corporate/ja>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 和徳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 慶司 TEL 045-620-7410
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	142,165	16.5	39,667	27.9	40,984	27.4	29,230	22.9	29,230	22.9	35,373	36.4
2022年3月期第3四半期	122,004	23.9	31,018	46.0	32,168	54.5	23,787	58.8	23,787	58.8	25,930	37.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	844.14	843.99
2022年3月期第3四半期	669.01	668.82

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	394,765	344,215	344,215	87.2
2022年3月期	394,783	342,069	342,069	86.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	160.00	—	280.00	440.00
2023年3月期	—	220.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	220.00	440.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	11.8	47,000	15.3	48,000	11.4	34,500	9.7	997.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	37,227,089株	2022年3月期	38,175,942株
2023年3月期3Q	2,801,089株	2022年3月期	2,820,207株
2023年3月期3Q	34,626,509株	2022年3月期3Q	35,555,478株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2023年2月2日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や輸出は堅調に推移したものの、資源価格の高騰・急激な円安に伴う原材料コスト及び物流コストの増加等により内需は低迷するなど、景況感は業種による二極化が一層進む状況となっております。

また、海外におきましては、欧米ではインフレの顕在化や金融引き締めにより景気は減速局面に入り、中国では年末に”ゼロ・コロナ”政策に終止符を打ちましたが、これまでの行動制限により景気の減速感は深まってきています。

このような状況下当社グループは、主にスマートフォン市場向け、自動車市場向け及び産業用機器市場向けのグローバル事業拡大を進めると共に高度化する市場ニーズへの更なる迅速な対応を目指し、高付加価値新製品の開発・販売・生産体制の強化を推進して参りました。その結果、産業用機器市場向け、自動車市場向けビジネス、民生用機器市場向けを中心に売上が伸長したため、当第3四半期連結累計期間の売上収益は1,421億65百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は396億67百万円（同27.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は292億30百万円（同22.9%増）となりました。

また、報告セグメントごとの業績を示しますと、次の通りであります。

[多極コネクタ]

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC(フレキシブル基板)用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。

主としてスマートフォン、タブレットPC、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器及び医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後の更なる高度情報通信ネットワーク化社会及び環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は1,286億90百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は367億72百万円（同28.6%増）となりました。

[同軸コネクタ]

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にスマートフォンやパソコンなどの無線LANやBluetooth通信のアンテナ接続や自動車でのGPSアンテナ接続として、また無線通信装置や電子計測器の高周波信号接続として使用されるコネクタであります。なお、光コネクタ、同軸スイッチもこの中に含んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は90億31百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は23億79百万円（同7.9%増）となりました。

[その他]

以上のコネクタ製品以外の製品として、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類を一括しております。

当第3四半期連結累計期間は、売上収益は44億44百万円（前年同期比21.1%増）、営業利益は5億16百万円（同127.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、その他の金融資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ18百万円減少して、3,947億65百万円となりました。負債合計は未払法人所得税および営業債務及びその他の債務の減少などにより21億63百万円減少して505億50百万円となりました。また、資本合計は、四半期利益の計上及び為替換算調整などその他の資本の構成要素の増加などにより21億45百万円増加して3,442億15百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は87.2%となり、前連結会計年度末と比べて0.6%増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、前回公表後の為替相場が円高に転じたことと民生機器向けビジネスが前回予想を下回る見込みのため、2022年11月2日に公表致しました通期の連結業績予想を修正致します。

(2023年3月期 通期業績予想の修正)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する当期 利益	基本的1株当 り当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 190,000	百万円 50,000	百万円 51,000	百万円 36,000	円 銭 1,041.17
今回修正予想 (B)	183,000	47,000	48,000	34,500	997.77
増減額 (B - A)	△7,000	△3,000	△3,000	△1,500	—
増減率 (%)	△3.7	△6.0	△5.9	△4.2	—
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	163,671	40,765	43,081	31,437	885.39

為替レートにつきましては通期のレートをそれぞれ、1米ドル=134.00円、1ユーロ=139.50円、1韓国ウォン=0.1029円の前提としています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	68,394	72,326
営業債権及びその他の債権	43,427	46,030
棚卸資産	21,695	28,141
その他の金融資産	140,918	108,235
その他の流動資産	6,389	6,600
流動資産合計	280,823	261,332
非流動資産		
有形固定資産	61,148	64,257
使用権資産	4,909	5,115
無形資産	3,704	4,109
その他の金融資産	38,504	54,148
繰延税金資産	2,769	2,917
退職給付に係る資産	2,514	2,538
その他の非流動資産	412	349
非流動資産合計	113,960	133,433
資産合計	394,783	394,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	23,811	22,526
リース負債	867	1,039
その他の金融負債	142	56
未払法人所得税	8,029	6,412
その他の流動負債	6,091	6,484
流動負債合計	38,940	36,517
非流動負債		
リース負債	4,101	4,124
その他の金融負債	166	107
退職給付に係る負債	227	323
繰延税金負債	8,513	8,702
その他の非流動負債	767	777
非流動負債合計	13,774	14,033
負債合計	52,714	50,550
資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	11,250	11,163
利益剰余金	338,818	339,326
自己株式	△36,306	△39,866
その他の資本の構成要素	18,903	24,188
親会社の所有者に帰属する持分合計	342,069	344,215
資本合計	342,069	344,215
負債及び資本合計	394,783	394,765

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	122,004	142,165
売上原価	66,035	72,187
売上総利益	55,969	69,978
販売費及び一般管理費	24,947	30,505
その他の収益	240	323
その他の費用	244	129
営業利益	31,018	39,667
金融収益	1,172	1,501
金融費用	22	184
税引前四半期利益	32,168	40,984
法人所得税費用	8,381	11,754
四半期利益	23,787	29,230
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	23,787	29,230
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	669.01	844.14
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	668.82	843.99

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	23,787	29,230
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△35	—
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	△50	275
純損益に振り替えられることのない項目合計	△85	275
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,219	5,940
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融商品	9	△72
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,228	5,868
税引後その他の包括利益合計	2,143	6,143
四半期包括利益合計	25,930	35,373
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	25,930	35,373

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2021年4月1日残高	9,404	11,230	317,265	△21,874	10,067	326,092	326,092
四半期利益			23,787			23,787	23,787
その他の包括利益					2,143	2,143	2,143
四半期包括利益合計	—	—	23,787	—	2,143	25,930	25,930
剰余金の配当			△10,010			△10,010	△10,010
自己株式の取得		△2		△14,576		△14,578	△14,578
自己株式の処分		1		123		124	124
株式報酬取引		20				20	20
利益剰余金への振替		△6	△29		35	—	—
所有者との取引額等合計	—	13	△10,039	△14,453	35	△24,444	△24,444
2021年12月31日時点の残高	9,404	11,243	331,013	△36,327	12,245	327,578	327,578

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	資本合計
2022年4月1日残高	9,404	11,250	338,818	△36,306	18,903	342,069	342,069
四半期利益			29,230			29,230	29,230
その他の包括利益					6,143	6,143	6,143
四半期包括利益合計	—	—	29,230	—	6,143	35,373	35,373
剰余金の配当			△17,473			△17,473	△17,473
自己株式の取得		△1		△15,890		△15,890	△15,890
自己株式の処分		△6		101		95	95
自己株式の消却		△12,228		12,228		—	—
株式報酬取引		41				41	41
利益剰余金への振替		12,107	△11,249		△858	—	—
所有者との取引額等合計	—	△87	△28,721	△3,560	△858	△33,227	△33,227
2022年12月31日時点の残高	9,404	11,163	339,326	△39,866	24,188	344,215	344,215

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式948,853株の消却を、また、2022年5月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式936,800株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が3,560百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が39,866百万円となっております。

上記消却の金額は「資本剰余金」の中のその他資本剰余金から減額しておりますが、その他資本剰余金を上回る金額については「利益剰余金」より減額しております。

(セグメント情報)

1. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、主にコネクタ等を生産・販売しており、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループはコネクタの形状を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「多極コネクタ」及び「同軸コネクタ」の2つを報告セグメントとしております。

「多極コネクタ」は、主として機器の外部に実装する丸形コネクタ及び角形コネクタと機器の内部に実装するリボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタがあります。

「同軸コネクタ」は、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、ここには光コネクタも含んでおります。

(2) 報告セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	109,823	8,512	118,335	3,669	122,004
収益合計	109,823	8,512	118,335	3,669	122,004
営業利益	28,587	2,205	30,791	227	31,018
金融収益	—	—	—	—	1,172
金融費用	—	—	—	—	22
税引前四半期利益	—	—	—	—	32,168

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

地域に関する情報

	日本	中国	韓国	その他	合計
売上収益	30,538	44,138	15,979	31,349	122,004
連結売上収益に占める割合 (%)	25.0	36.2	13.1	25.7	100.0

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	多極コネクタ	同軸コネクタ	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	128,690	9,031	137,721	4,444	142,165
収益合計	128,690	9,031	137,721	4,444	142,165
営業利益	36,772	2,379	39,151	516	39,667
金融収益	—	—	—	—	1,501
金融費用	—	—	—	—	184
税引前四半期利益	—	—	—	—	40,984

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マイクロスイッチ類及びコネクタ用治工具類等を一括しております。

地域に関する情報

	日本	中国	韓国	その他	合計
売上収益	33,362	49,472	18,798	40,533	142,165
連結売上収益に占める割合(%)	23.5	34.8	13.2	28.5	100.0